

2022年12月21日

各位

株式会社日本エム・ディ・エム
問合せ先 | R室(03-3341-6705)

CDP 気候変動に関する調査において「B-」評価に認定

株式会社日本エム・ディ・エム（本社：東京都新宿区、代表取締役社長：大川 正男）は、国際的な環境評価の情報開示システムを運用する CDP から、環境問題によるリスクや影響を管理している企業としてスコアレベル「B-」評価（“マネジメント”）として評価されましたのでお知らせします。

記

CDP は、世界の主要企業の環境活動に関する情報を収集・分析し、気候変動に対する企業の取り組みを 8 段階で評価しています。



当社は、「最先端の優れた医療機器の開発と販売を通じて、医療に貢献する」という経営理念のもと、気候変動への対応もマテリアリティの一つとして捉えており、シナリオ分析、気候変動に伴うリスクと機会を評価し、TCFD 提言に従い 4 つの開示推奨項目に沿った情報を開示しています。

また、2020 年度のスコープ 1、2 における GHG 排出量を基準とし、国内における 2030 年度の削減目標を 2020 年度比 30%削減、2050 年度には「GHG 排出量ゼロ」にすることを目標として掲げています。

ESG 活動を通して企業の社会的責任を果たすと共に、SDGs（持続可能な開発目標）に貢献すると同時に持続的成長を追求してまいります。

関連資料：当社のサステナビリティに関する取り組み

<https://www.jmdm.co.jp/sustainability-action/>

TCFD 提言への対応

<https://www.jmdm.co.jp/sustainability-action/tcf/>

以上